

# 力 行 志



富山市立東部中学校 2年3組通心 17頁 平成29年6月19日(月)

市の総合選手権大会、お疲れ様でした。出場した人、応援した人、悔しさを経験した人、勝つ喜びを味わった人、それぞれだと思えます。また、いろいろ話を聞かせてくださいね。私はというと、自分が選手だった頃から含めて、最も多くの失点をした試合でした。28失点です。さすが

に、心にグサツときましたね。しかし、自分に起こることはすべて必要なこと

です。きっと、自分の野球への向き合い方をもう一度

度考え直せという神様のお告げだと思えます。だから、野球だけでなく、自分の生活状況も含めて、もう一度考えてみることにします。

そして、今日の話は、「責任と仲間」です。前回紹介した植松裕さんに学びさせていただきま

しょう。過去の「みやまぎ中央新聞」で紹介された記事の一部です。

「実は僕はずっと1人が好きでした。1人だと人に迷惑をかけないで済みますし、人から迷惑をかけられないで済みます。人と関わるのは正直、面倒臭いです。だから僕はずっと1人で何でもやりました。」



でも1人でできることには限りがあります。そして、仲間がいなくてできないことがあります。それにより面倒臭い人間関係も生まれます。でも、1人ではできない口やツト造りを通して、大事なことを知ったんです。

## 責任の向こう側に本当の仲間がいる

それは、「責任の向こう側に本当の仲間がいる」ということです。本当の仲間や親友が欲しかったら、責任から逃げちゃいけないんだと思います。

人は、勇気を出して責任を受け止めたとき、ハッとさせられました。私も、人を信用できなかった頃がありました。小学6年生の時です。あることがきっかけで、野球のクラブを辞めたのです。野球は大好きだったので、結局1年間、父の会社のチームの朝練に参加して

ました。今では良い思い出です。後悔は全くしていません。この頃は、本当に1人が好きでした。しかし、いろいろな本を読んでいると、出会いたい、話をしたい素敵な人がたくさんいることに気がきました。でも、このことに気付けたのは、大学生の頃です。今は違います。いろいろな講演会や勉強会に行くと、仲間が増えました。自分一人ではできないことも、仲間がいれば、できる可能性が一気に増えます。やっぱり、自分にも仲間が必要です。だから、責任に向き合う自分を目指します。今回の最多失点の敗戦も、きっと「責任と向き合いなさい」ということ

です。自分のさらなる成長のチャンスだと思っ、前向きに頑張ろうと思います。

素晴らしい仲間と深い絆で繋がることができるようだと思えます。